

## 第5回津田地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成20年2月13日（水） 午後7時30分から8時40分

場 所：津田支所 2階委員会室

参加者：委員15名（欠席5名）

事務局 教育総務課長、学校教育課長、担当職員5名

傍聴人：なし

### 1. 会議の公開・非公開について

公開とする。

### 2. 議題

#### (1) 報告

①第4回津田地区学校再編計画地域協議会結果の報告

#### (2) 議事

①第2回学校再編計画地域連絡協議会結果について

②小学校の適正配置について

③中学校の適正配置について

④幼稚園の適正配置について

### 質疑応答

#### 中学校の適正配置について

(委員) 中学校の再編で3校案と4校案では10億ぐらいの費用の差がある。10年後ぐらいまでは問題はないが、15年～20年後ぐらいになると人数が減って、また再編しなければいけない問題が出てくるかもしれない。ということで3校案が賛成の意見が多かった。ただ3校案になると距離の問題と人数が増えマンモス校になり、地区の見直しが必要であり、それを加味してくれるのであれば賛成という意見があった。

(委員) 津田地区地域連絡協議会として3校か4校か決めて地域連絡協議会へ出していくのか。

(委員) 津田の場合は津田運動公園あたりであれば行きやすいように思われる。

(事務局) 津田地区としては再編するという方向でいくようになると思う。具体的には協議をしながら進めていく。

#### 小学校の適正配置について

(事務局) 津田地区の委員皆さんの意見等をまとめて、方向性として来月の協議会で確認していただきたい。

小学校については、一部にはいまの現状のまま残して欲しいという意見、地域の皆さんからは学校が無くなることによって地域が衰退するという意見がありました。しかし多くの意見としては、早く津田小学校と統合して新しい環境で学習してほしいという意見もありました。21年の4月を目途に再編を進めるという形でまとめようと考えている。

通学、さまざまな問題、また子どもたちの交流等を含めましては 4 月からの新しい協議会を立ち上げて協議していく。

中学校については、3 校か 4 校になるかわかりませんが、再編するという考え方でいくということで、地域連絡協議会の方へ委ねていくという方向にしていきたい。

(事務局) 小学校のまとめの内容のご意見を伺いたい。

(委員) 小学校の通学で自転車通学は出来ないのか。一部、他の小学校で自転車通学していると聞いている。高学年だけでも自転車通学出来れば、マイクロバスの回数も減るし、いいのではないのか。

(事務局) 実際、末分校は自転車通学はしているが、今後検討、協議していきたい。

(委員) 20 年は合併の事務段階だと思われるが、そのあたりの細かい話しは学校同士でやっていくのか。

(事務局) 学校の先生も含め、PTA 保護者の方も含めて、組織を作って決めていくことになる。

(委員) 子どもの動揺がないようにする為の方策がいろいろあると思うので、しっかり立てていただきたい。この再編の中でトップをきる訳ですね。ですからいろんな形で前例になると思うのでよく協議してほしい。

(事務局) 保護者説明会等も含めて、しっかりやっていかなければならない。

幼稚園の適正配置について。

(事務局) 幼稚園再編についての説明

(委員) 幼稚園の保護者の中での話しが出たことで、経済的からみても、どちらかを改修していくのも一つ方法ではないかと思う。

(事務局) それも一つの方法だと思う。園児の減少の状況でなかで、どちらかの幼稚園を利用して、先に再編しておくという方法も可能である。

(委員) もし新設するのであれば、要望として駐車場の確保をしていただき、安全面とか隣接に迷惑がかからないので、そうしてほしい。

寒川の方では幼稚園と保育所が一体化していると聞いたが、出来るのであれば津田も幼稚園と保育所を一体化するとか、一つの方法として考えてほしい。

(委員) 児童館の方はどう考えているのか。今は鶴羽にしかないの。

(事務局) たちまち施設は増やせないの、鶴羽の東部児童館を使っていただくようになると思う。

これからの検討課題のひとつになる。スクールバスが出るので、その便でスクールバスに乗って東部児童館に行くようになるのではないかと、当面はその方法でと思っている。

(事務局) 幼稚園の問題ですが、小学校は 21 年に向けての統合の方向であるので、今いわれているように幼稚園から小学校にあがる時の小 1 プロムレムとかいうことを考えると、幼稚園の方も早い段階で一つになっておくのも方法としてあるが、そのあたりの皆様のご意見をお聞かせ願いたい。

(委員) 津田幼稚園は耐震的にはどうなのか。

(事務局) 建築年度から言えば、補強して使うことになる。計画とあわせて進めていかなければならない。

(委員) 津田小学校の近くに建築する土地はないですね。それだったら、早く補強した方がいいのではないか。

(委員) 人員的にはどうなのですか。

(事務局) 今、津田と鶴羽を合わせれば 100 人程度になるのですが、いま津田幼稚園の図書室等の特別な部屋を普通教室に変えればいける状態になる。

(委員) 津田小学校の P T A で話しをする中で、教育環境になるとプロの先生の話しを聞かないとわからない部分がある。一緒になるとしてもプロセスを踏んでいくのと、いろいろな交流をやりながら進めないと難しい問題はあるということなので、混乱がないようにと提案をしている。二つの幼稚園から一つの小学校に上がるのが問題あるのかどうかというのは、父兄の意見、先生の意見などを聞いたうえで、判断しやすい。

(事務局) 統合になれば、子どもたちがスムーズになれることが重要なので、子どもたちの交流、両校間で学年ごとだけにこだわらず、全校を通して学校間での協議は十分やっていく予定で薦めて生きたいと思っている。子どもたちの交流、一緒に勉強するとか、行事的なものも考え、回数をかなり踏んだうえで統合していきたい。細かいカリキュラムの調整はたくさんあるので、そういうことは学校現場の先生方が中心になってやっていくようになると思う。

(委員) 幼稚園は中学校跡地とか鶴羽小学校の跡地とかを利用して幼稚園、保育所と一緒にすればいいが、すぐには出来ないの、たちまちは今のままでいくしかないのと思う。

(事務局) 保育所の方も保育所計画があるようで、津田、鶴羽の統合の話は聞かれたことはありますか。

(委員) 保育所は鶴羽保育所に統合するという計画案が出ているということを知っている。

(委員) 幼稚園は急がなくてもいいのではないか。幼保一元化とかが決まってからでもいいのではないか。

(委員) 保育所も子どもが減ると保護者の負担がかかってくる。役員とかはみんながしなければならなくなって、仕事をしている方たちは参加出来なくなってきて、問題が起きてくる。幼稚園が統合するなら保育所も同じ時期で統合してもらった方がいいかなと思う。

(事務局) 状況を見ながら、検討する。

### 3 次回の日程について

日時：平成 20 年 3 月 12 日（水） 午後 7 時 30 分

場所：津田支所 2 階委員会室